

第13回 映像ゼミナール2012 特別版 早春

『トーマス・アルスランと映画を語る』

Film-Diskussion mit Thomas Arslan

2012年3月13日（火曜日）/14時30分～17時30分（開場14時15分）

会場：上智大学 中央図書館 8F L821 教室



今回の第13回映像ゼミナールでは、特別版として、現在のドイツを代表するインディペンデント映画作家トーマス・アルスラン氏を招き、彼の映画について自由に討論する機会を設けました。コーディネーターとしてドイツ映画研究の専門家である渋谷哲也氏を迎え、さまざまなテーマで質疑応答を行いたいと思います。それぞれの映画製作にまつわるエピソードや、作品に込めた思い、またベルリンという場所について、移民二世というアイデンティティについて、映画の未来についてなどなど、興味は尽きません。

すでにアテネ・フランセやドイツ文化センターで作品をご覧になった方を対象としますが、当日参考映写も行う予定ですので、未見の方も気軽にご参加ください。（以下の上映情報も参照下さい。）

3月6-10日 アテネフランセ文化センター

『兄弟』『売人』『晴れた日』『彼方より』『イン・ザ・シャドウズ』（初公開）（10日に監督のトークを開催）

<http://www.athenee.net/culturalcenter/program/ar/arslan.html>

3月12日 東京ドイツ文化センターホール 夜7時より『休暇 Ferien』上映、アフタートークあり

<http://www.goethe.de/ins/jp/tok/ver/ja8831774v.htm>

アルスラン作品から抜粋しての、参考映写を予定しております。

（逐次通訳あり）

【入場無料】

お問い合わせ

上智大学ヨーロッパ研究所

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1, Tel/Fax03-3238-3902